

1 あいち医療ツーリズム推進協議会の開催

外国人患者を円滑に受け入れるための規制緩和や海外への情報発信、関係者間の連携促進など、医療ツーリズムの推進に向けた具体的な取組を引き続き協議する。

2 県内医療機関への情報提供等支援（新規）

昨年度まで実施した医療関係者等が一堂に会してのトップセミナー等に替わって、積極的な情報発信やアドバイザー派遣を行うことにより、県内の医療ツーリズム推進の機運を高め、医療機関の外国人患者受入れが円滑になるよう支援する。

(1) 情報発信

外国人患者の受入れにおいて先進的な県外の医療機関を訪問し、課題の解決策や具体的な取組等について聴き取った結果を、県内病院へのメール送信及び web ページへの掲載を通じて広く発信する。

(2) アドバイザー派遣

外国人患者を受け入れている（又は受入れ予定の）県内の医療機関に対して、知識・経験が豊富なアドバイザーを派遣し、実践的な助言等を行う。

3 国際医療コーディネーターの育成

医療機関において外国人患者の受診環境整備や患者・家族及び医療スタッフの支援を行うコーディネーター業務を担当する人材や、外国人患者に対して受入れ医療機関のマッチングや治療費の支払い代行、通訳派遣、その他患者受入れに関わる一連のサービスを提供できる人材を育成するため、引き続き研修を実施する。

(1) 日 程 平成 31 年 11 月頃

(2) 会 場 名古屋市内

(3) 対象者 医療機関の職員等（30 名程度）

4 医療機関向けアンケートの実施

医療ツーリズムの現状及び推進にあたっての課題について、これまでの変化等を明らかにするため、県内の病院を対象とした「外国人患者の受入れ状況に関するアンケート」を引き続き実施する。

(1) 日 程 平成 31 年 8 月頃

(2) 対 象 県内 324 病院の一部

（平成 30 年 10 月 1 日現在。病院名簿（愛知県）による）

(3) 方 法 電子メール等

5 海外 PR 事業

中国の国際医療旅游展覧会へ引き続きブース出展し、昨年度に制作した DVD 等を活用しながら、来場者に向けた PR を行うことにより、愛知県の医療ツーリズム推進を図る。

また、中国では、特に都市部で老若男女問わずデジタル化が進んでいるため、出展に先立ってインターネット広告等を掲出し、展覧会の愛知県ブースへの訪問を呼びかける。

(1) 日 程 平成 31 年 11 月 22 日（金）～11 月 24 日（日）

(2) 会 場 中国国際展覧センター（北京）

(3) 内 容 県内から広く募集した医療機関と合同実施
（上記 4 のアンケート結果等を基に声掛け）

(4) その他 ・旅費等は参加医療機関が自己負担
・広告媒体の例… 今日頭条（ニュース SNS アプリ）、
百度（検索エンジン）

6 その他

国家戦略特区による規制緩和の活用に向けた取組を継続する。